

健康を決める力、ヘルスリテラシーを身につける



8020  目指そう80歳20本の歯



推進・静岡県大会 in 静岡

医療

と

アート

の融合



11.10 

令和6年

8020推進・静岡県大会 in 静岡

「医療とアートの融合」

抄録もくじ

ご挨拶

静岡県知事	鈴木康友	1
静岡県歯科医師会会長	平野明弘	
静岡県8020推進住民会議会長	白井嘉尚	

日程(プログラム)

.....	4
-------	---

表彰受賞者

.....	5
8020県民表彰(県知事賞)	
公益財団法人8020推進財団理事長賞	
歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール「最優秀賞」	
歯・口の健康啓発標語コンクール「最優秀賞」	
静岡県歯科医師会公式マスコットキャラクター表彰	

活動発表

.....	7
沼津市8020推進員	原 明子
「子どもたちと一緒に学ぶ8020沼津」	
藤枝市地域包括支援センター 社会福祉協議会	吉野 祐子
「介護予防と口腔 ～地域の高齢者に対する啓発の取り組みから～」	

講演

.....	9
「医療とアートの融合」	
アートが医療にできることはまだあるか？	
ヘルスリテラシーを上げよう！	
講師：歯科医師(医学博士)兼 現代美術作家	長縄 拓哉

〈主催〉静岡県・静岡県8020推進住民会議(構成団体：公益社団法人静岡県薬剤師会／公益社団法人静岡県栄養士会／NPO法人静岡県介護支援専門員協会／静岡県教育委員会／静岡県健康づくり食生活推進協議会／公益財団法人静岡県生活衛生営業指導センター／静岡県PTA連絡協議会／全国健康保険協会静岡支部／有識者／公益社団法人静岡県歯科技工士会／NPO法人静岡県歯科衛生士会／一般社団法人静岡県歯科医師会)

〈後援〉一般社団法人静岡県医師会／公益社団法人静岡県看護協会／一般財団法人静岡県社会保険協会／NHK静岡放送局／静岡新聞社・静岡放送／静岡朝日テレビ／テレビ静岡／静岡第一テレビ／朝日新聞静岡総局／読売新聞静岡支局／毎日新聞静岡支局／中日新聞東海本社

〈協賛〉サンスター(株)



ご挨拶

静岡県知事 鈴木康友

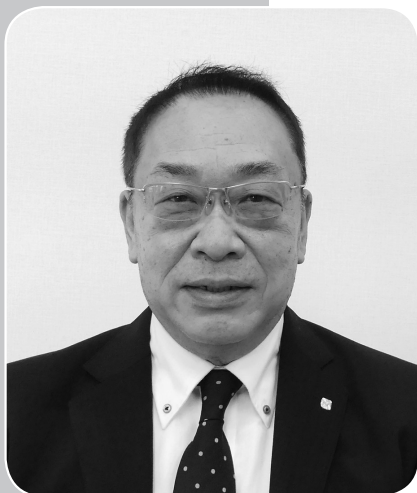
本日は8020推進員の皆様をはじめ多くの関係の皆様のご参加の下、「8020推進・静岡県大会」が盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。また、お集まりの皆様におかれましては日頃から本県の健康づくり行政の推進に格別の御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さらに、8020県民表彰等を受賞された皆様におかれましては、心からお祝いを申し上げますとともに、この受賞を機に、今後もそれぞれの地域において、なお一層御活躍いただくことを御期待申し上げます。

さて、静岡県では、県民一人ひとりの「暮らしやすさ」と「幸福感(ウェルビーイング)」を見える化し、本県の強みを伸ばし、弱みを強みに変えていくことにより、「県民幸福度日本一の実現」を目指しております。本県の強みの一つは全国トップクラスの健康寿命を誇ることであります。誰もが生涯を通じて元気に暮らし続けるためには、運動機能や認知機能と密接な関係がある歯や口の機能を維持することが大変重要となります。そのため、本県では、令和6年3月に策定した「第3次静岡県歯科保健計画」に基づき、8020運動や、オーラルフレイル(口腔機能の低下)対策、ライフステージごとの特性・ライフコースアプローチを踏まえた歯や口腔の健康づくりなど、全ての県民にとって健康で質の高い生活を営む基盤となる歯科口腔保健を推進しております。

このためには各地域での歯や口の健康づくりの推進が大変重要であり、8020推進員の皆様をはじめ関係の皆様のお力添えが必要不可欠であります。県民の皆様が、食べる喜びや会話する楽しみを実感し心豊かな生活を送ることができる社会を実現するため、引き続き、県の取組に御協力を賜りますよう改めてお願い申し上げます。

結びに、本大会の運営に御尽力いただきました静岡県8020推進住民会議をはじめ関係の皆様へ深く敬意を表しますとともに、御参加の皆様の御健勝、御活躍を祈念申し上げます。御挨拶といたします。



ご挨拶

一般社団法人 静岡県歯科医師会

会長 平野 明弘

第25回8020推進・静岡県大会が開催されることを大変嬉しく思います。本日、噛むカムケア8020コンクールにおいて受賞された皆様におかれましては、心からお祝いを申し上げます。皆様が県民の立派なお手本となり地域社会の健康と幸福に貢献されていることを誇りに思います。これからも歯と口の健康を保持され、よく食べ、よく笑い、日々元気にお過ごし頂きたいと思います。また歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクールの作品は、歯と口の健康の大切さを改めて県民の皆様に認識されると思います。

さて、既に「人生100年時代」です。平均寿命の延伸はもとより、健康上の問題により日常生活を制限されることなく生活ができる「健康寿命の延伸」を目指さなくてはなりません。健康寿命の延伸は健康日本21の中心課題でもあります。平均寿命の延伸に伴い、健康寿命との差が拡大すれば、医療費・介護給付費等が増大します。今後、平均寿命の延伸とともに、健康な期間だけではなく日常生活に制限のある期間も延びることが予想されます。これには各ライフステージ、さらには各ライフコース等への支援や対応が必要です。お口の働きの衰えは、要介護の入り口の一つのリスクでもあります。是非とも定期的な歯科健診を受け継続的な口腔の健康管理をお願いしたいと思っております。

そのためには「ヘルスリテラシー」を高める必要があります。「ヘルスリテラシー」とは健康や医療に関する正しい情報を入手し、理解して活用する能力のことです。ヘルスリテラシーを高めることは、健康を維持し病気を悪化させないことにつながります。多くの健康情報が流れるこの時世で、正しい情報を見抜き、情報を使いこなす能力を高めることは健康を守るためにとても重要です。今回は、「医療とアートの融合」をテーマに現役歯科医師であり、現代美術作家でもある長縄拓哉先生にご講演をいただきます。「アートと医療」は一見結び付きがない気がしますが、面白くも不思議な関係性があるようです。アートを通じて、病気についてのコミュニケーションの活性化、そして、理解と行動変容を促すことを目指されています。たくさんの皆様のご参加をお待ちしております。



ご挨拶

静岡県8020推進住民会議

会長 白井 嘉尚

第25回「8020推進・静岡県大会」が、JR東静岡駅に隣接するグランシップで開催されますこと心よりお祝い申し上げます。本大会は2020年のコロナウイルス感染症パンデミックによって、その年はオンラインのみでの大会となり、その翌年からはオンラインと会場とを組み合わせたハイブリッド方式として開催して参りました。この4年間、より多くの方々にご参加いただくことのできる大会の形を模索し、様々な調整にご尽力くださいました関係各位に、この場をかりて厚く御礼を申し上げます。

私は、今は退職しておりますが、長年、静岡大学で美術分野を担当してきた者です。その私が、2011年にこの住民会議の会長になったことは晴天の霹靂でした。この会議は歯科医療の専門職だけでなく、歯と口の健康は全ての人に関わるという観点から、8020推進員はもとより、福祉、食、教育、保険、報道、デザインなどさまざまな分野の方々によって構成されています。

「8020」すなわち「80歳になっても20本以上の自分の歯を持つ」ことが、健康長寿と密接な関係があることを医学的な知見に立って世に訴え、住民運動として立ち上げた先人に感謝するとともに、それぞれの地域で地道に普及活動を行なっている推進員の皆さまに敬意を表したいと思います。8020達成者の割合が、この運動が始まった1989年にはおよそ5%なのに対し、今では優に50%を超えるとのこと、まさに目覚ましい成果です。

そのうえで、すでに社会的に認知されている「8020」という言葉は維持しつつ、歯の数だけでは測れない口腔の健康状態の課題を捉えるために、静岡県における8020運動は2016年度から「オーラルフレイル(口腔の虚弱)予防」という新たな目標に向かって歩み出しました。それは高齢者の健康に関する研究の進展と医科歯科連携の流れのなかで、口腔の健康が全身の健康を維持するための「最上流部」と明確に位置づけられたことを具現化するものです。また口腔の健康は心の健康や、社会的な健康の礎でもあります。

その意味で、本大会のテーマ「健康を決める力、ヘルスリテラシーを身につける ～医療とアートの融合～」は、興味深い問題を孕んでいるように思われます。講師の長縄拓哉先生は、歯科医師であり、また現代美術作家でもあります。かけ離れているように思える、それら二つの間にどのような関係があるのか、講演がとても楽しみです。また、地区活動発表では沼津市8020推進員による「沼津の活動」と、藤枝市地域包括支援センター吉野祐子氏による「高齢者に対する啓発の取り組み」も見逃しません。

本大会が、参加していただいた皆さまにとって有意義で、また楽しい大会になり、そこで得た知識や交友を持ち帰っていただければ幸いです。

日 程 (プログラム)

司 会 静岡県栄養士会会長
静岡県歯科衛生士会会長

新 井 英 一
金 森 麻依子

13:00 開 会

開会の辞 静岡県8020推進住民会議会長

白 井 嘉 尚

挨 拶 静岡県健康福祉部長
静岡県歯科医師会会長

青 山 秀 徳
平 野 明 弘

表 彰

14:10 活動発表

「子どもたちと一緒に学ぶ8020沼津」

沼津市8020推進員

原 明 子 氏

「介護予防と口腔 ～地域の高齢者に対する啓発の取り組みから～」

藤枝市地域包括支援センター 社会福祉協議会

吉 野 祐 子 氏

14:40 講 演

「医療とアートの融合」

歯科医師（医学博士）兼 現代美術作家

長 縄 拓 哉 先生

15:40 閉 会

閉会の辞 静岡県歯科医師会副会長

良 知 義 弘

各表彰・受賞者

(敬称略)

● 8020県民表彰(10名)

函南町
長 島 みはる (85歳)
富士宮市
外 川 孝 (84歳)
藤枝市
小 栗 節 雄 (84歳)
湖西市
加 藤 春 美 (81歳)

裾野市
山 入 文 明 (81歳)
静岡市清水区
大 石 瑤 一 (84歳)
川根本町
橋 本 泰 義 (83歳)

富士市
★大 塚 里 子 (82歳)
焼津市
杉 本 昌 宏 (82歳)
袋井市
長 浦 厚 子 (81歳)

年齢は令和6年4月1日現在

8020県民表彰(県知事賞)

*県内にお住まいの80歳以上の元気な8020達成者を各地区から推薦していただき、上位10名を表彰します。この中で最高得点者が「県知事賞」(★印の方)を受賞します。

● 公益財団法人 8020推進財団理事長賞(10名)

伊豆の国市
小 松 功 (80歳)
富士市
岡 野 孝 司 (80歳)
藤枝市
河原崎 守 也 (80歳)
浜松市
杉 山 優 (80歳)

長泉町
押 山 昌 弘 (80歳)
富士宮市
三 上 伸 代 (80歳)
牧之原市
八 倉 昌 武 (80歳)

沼津市
山 川 京 子 (80歳)
焼津市
菊 地 武 治 (80歳)
袋井市
山 下 穰 (80歳)

年齢は令和6年4月1日現在

公益財団法人 8020推進財団理事長賞

*県内にお住まいで審査基準日の年齢が「80歳」の元気な8020達成者を各地区から推薦していただき、上位10名を「8020推進財団理事長賞」として表彰します。

8020(ハチマルニイマル)運動とは

8020運動が提唱されて36年。歯や口から始まる健康づくりとして「ハチマルニイマル運動」は定着してきました。80は高齢を表し、20はしっかり噛める20本の歯を意味します。

20本以上の歯があれば、食生活にほぼ満足できると言われています。

よく噛める歯や口を保ち、心豊かに健康で質の高い生活を生涯保つためにも、若いうちからお口の管理が必要です。「8020」はそんな健康づくり運動のスローガンです。

● 歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール「最優秀賞」(5名)

幼稚園・保育園の部

米澤大悟(6歳)
(小川幼稚園 焼津市)

小学校低学年の部

山本晴大(小3)
(南伊豆町立南伊豆東小学校)

小学校高学年の部

鈴木優雅(小5)
(富士宮市立富士見小学校)

中学校の部

近藤紀穂(中3)
(伊東市立南中学校)

特別支援学校の部

玉川達稀(小2)
(伊東市立宇佐美小学校特別支援学級)

歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール

*県内19郡市区歯科医師会において、園児、生徒から応募された図画ポスターの中から優秀な作品を推薦いただき、本会審査会にて各部門の各賞を選出。最優秀賞に選ばれた作品を表彰します。

● 歯・口の健康啓発標語コンクール「最優秀賞」(1名)

磯田莉菜(小4)
(浜松市立三ヶ日西小学校)

歯・口の健康啓発標語コンクール

*県内19郡市区歯科医師会において、生徒から応募された標語の中から優秀な作品を推薦いただき、本会審査会にて最優秀賞に選ばれた作品を表彰します。

● 静岡県歯科医師会公式マスコットキャラクター表彰

深澤愛心(3年)
(公立大学法人 静岡文化芸術大学)

静岡県歯科医師会公式マスコットキャラクター表彰

*この度、静岡県歯科医師会は、県民の皆さまに歯医者さんを身近に感じていただきたいと考え、マスコットキャラクターを募集しました。
この度、1点を本会の「マスコットキャラクター」として採用したので表彰します。
今後、色々な場面で皆さまの目に触れると思いますので、どうぞ可愛がって下さい。

子どもたちと一緒に学ぶ8020沼津

沼津市8020推進員代表 原 明子

私たち8020推進員は、8020推進員研修会を受講し、豊かな人生を過ごすため80歳になっても自分の歯を20本以上保とうという8020運動を市民に普及推進する活動を実施しています。

平成24年に発足してから幼稚園・保育園を年間15園前後訪問し、人形劇と紙芝居の上演、そして8020サンバ体操の沼津簡単バージョン（子ども向けにアレンジ）を行っています。なお、紙芝居や人形劇の人形はすべて手作りです。平成29年からは活動の場を小学生に広げました。夏休み期間を利用し、希望する放課後児童クラブに年間22クラブ前後出向きパネルシアター・紙芝居・クイズなどに取り組んでいます。

また、人形劇・紙芝居・パネルシアター等は毎年アップデートして上演するよう工夫しているため、幼稚園・保育園・放課後児童クラブから希望が多く寄せられ、継続した活動ができています。

このような活動を12年間続けたことにより「知事功労別表彰・保健衛生功労」を頂くことができました。この賞を励みにこれからも子どもたちと楽しく「お口の健康」について学ぶ8020活動をしていきたいと思っています。



人形劇「よ坊さんと学ぼう」上演



紙芝居「お口パトロール隊」上演

活動発表

介護予防と口腔 ～地域の高齢者に対する啓発の取り組みから～

藤枝市地域包括支援センター 社会福祉協議会
吉野 祐子

地域包括支援センターは平成18年に高齢者に対する総合相談・介護予防・地域包括ケアシステムの構築等を担う機関として全国の市町村に設置されました。

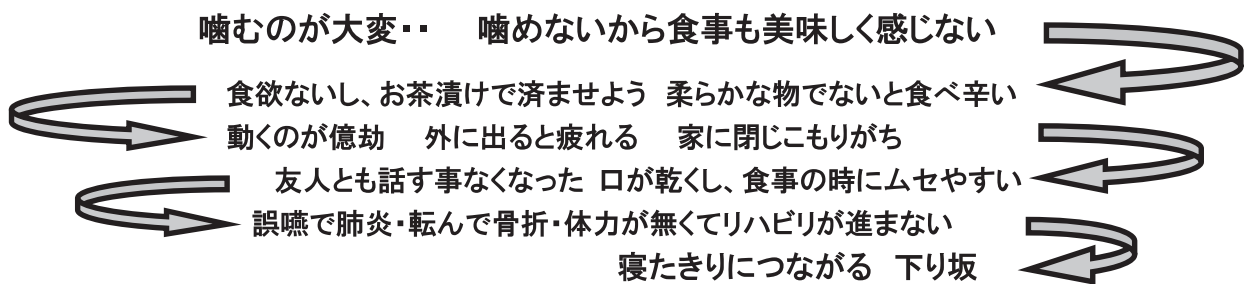
その中で地域の高齢者に対する介護予防普及啓発の取り組みが求められました。

国から示された介護予防の3本の柱が

- ・運動機能
- ・栄養
- ・口腔機能

この3つの密接な関連から機能低下・機能向上の循環を説明し、口腔機能の大切さや口腔の専門的ケアの必要性を伝える取り組みを行ってきました。

口腔機能の低下が招く **寝たきりへの1歩** を 踏み出さないために！



～好循環～

*部分入れ歯の不調を調整してもらった。

*噛みやすくなって食事が楽しめる。

↓

なんだか歩くのも身体が軽い。
買い物に行っても疲れなくなった。
そういえば、今年は夏バテしてない！

*教わった口の体操や

手入れを続けていた。

*口の乾きが良くなってきた

↓

好きな**パンも食べられる。
「外出大変だし同窓会に行くのは無理」
と考えていたけれどこれなら美味しく
料理も食べられるし会話も大丈夫。
みんなに逢うのが今から楽しみ。

講演

医療とアートの融合

アートが医療にできることはまだあるか？

ヘルスリテラシーを上げよう！

歯科医師（医学博士）兼 現代美術作家

なが なわ たく や
長 縄 拓 哉



2021年5月下旬から約1か月間、「蔦屋家電+」（東京都）で現代美術作品（絵画）の展示「アートが痛みを減らす展!？」を開催しました。本展示では、医学情報を含んだアートを身につけてコミュニケーションを促す研究プロジェクトとして、医療に対する無関心層へのアプローチ・行動変容を促す実験展示・検証を行いました。

私の専門である口腔顔面痛をはじめとする、治すことが難しい病気（痛み）は、虫歯や歯周病を予防することで、痛みの原因となるきっかけを回避することができます。そのためには、健康や医療に無関心な方々へ、正しい情報を届け、予防行動をしていただくことが不可欠です。しかし、無関心な人は医療機関を受診してくれませんので、医療者である私たちが病院から飛び出し、彼ら・彼女らにどこかで会わなければなりません。さらに、会えたとしても正しい情報をどのように伝えれば行動変容を促すことができるのでしょうか。

今回はその取り組みの1つとして、歯科医師である私が描いた現代美術作品を展示し、普段医療や健康に関心のない方（健康な方？）に興味をもっていただき、また展示だけでなくコンテキスト（作品の背景や文脈）に共感していただいた方にTシャツやステッカーなどを購入していただくことで、新しいコミュニケーションが生まれることを目指しました。私の作品をきっかけにコミュニケーションが生まれ、他人事だったことが自分事化され、またそれらの情報を他のだれかに伝えることで、さらに広がっていくイメージです。展示後のアンケート調査では、ほぼ全員がアート作品をきっかけにコミュニケーションが生まれたと回答しています。

歯科界では口腔ケアを含めた予防歯科のアプローチ、メンテナンスの重要性は当たり前のことですが、いまだに歯科医院は「痛くなってから行く」という方が少なくありません。また医療・介護分野では、口腔ケアは大切だけれども専門領域外のためどこか他人事になりがちですので、少しでも関心をもっていただき解決できるような取り組みが求められていると考えています。私のような現代美術作家が医療をテーマとした作品をとおして問題提起することで医療に少しでも関心をもっていただき、より身近になることで、医療に関する課題をともに解決していただけるような多職種や企業が増え、結果的に国民の健康に貢献できればうれしく思います。

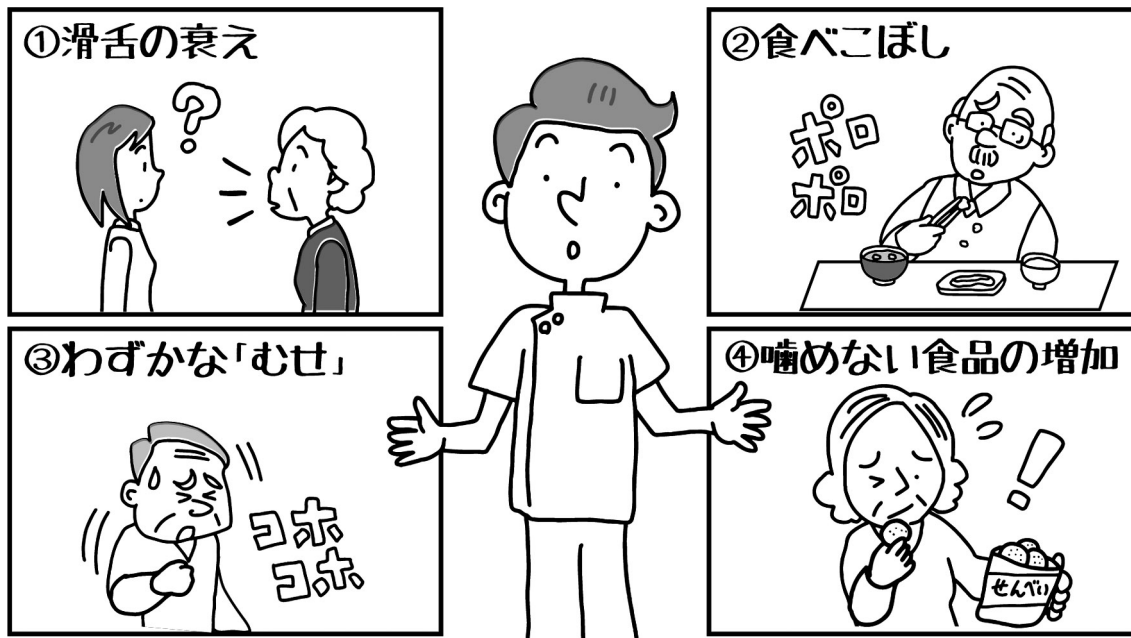
略歴

長縄拓哉（ながなわ・たくや） 歯科医師 医学博士 現代美術作家

2007年東京歯科大学卒業後、東京女子医科大学病院、デンマーク・オーフス大学での口腔顔面領域の難治性疼痛（OFP）研究を経て、口腔顔面領域の感覚検査器を開発。IADR（2015、ボストン）ニューロサイエンスアワードを受賞。現代美術の特性を応用し、医療や健康に無関心な人々や小児のヘルスリテラシーを向上させ疾病予防をめざす。著書に、医療介護の現場で役立つベーシックオーラルケア（クインテッセンス出版）、歯科オンライン診療の現在（インターアクション株式会社）など。近年の展示に、「アートが痛みを減らす展」（二子玉川蔦屋家電、2021）、「にゃんこリーダーとヘルスリテラシー展」（銀座創英ギャラリー、2022）、「長縄拓哉作品展（そごう横浜、2023）」、「Independent（タグポート、2024）」などがある。完売作家2021、2022（アートコレクターズ）。ネクストブレイク作家2021選出（月刊美術）。2024年Independent徳光健治賞。日本遠隔医療学会 歯科遠隔医療分科会会長、日本口腔顔面痛学会 評議員/診療ガイドライン委員/慢性疼痛診療ガイドライン委員、日本口腔内科学会代議員、厚生労働省教育訓練プログラム開発事業メディカルイノベーション戦略プログラム委員、千葉大学遠隔医療マネジメントプログラム委員など。

MEMO

「オーラルフレイル」ってこんな症状



フレイルとは、健康から要介護に至る過程の中で、「①身体」、「②こころ」、「③社会性」の衰えが多面的に表れてくる状態を呼びます。オーラルフレイル（お口の衰え）はこのフレイルの初期段階（プレフレイル）にみられる症状で、「滑舌の衰え、食べこぼし、わずかなむせ、噛めない食品の増加」などの症状が特徴であり、適切な対応を行うことにより健康で元気な状態に戻ることが可能であるとされています。健康長寿のためにはオーラルフレイル予防による「栄養（食・口腔機能）」の改善や、「身体活動（運動など）」、「社会参加（就労、余暇活動、ボランティアなど）」が重要です。

8020サンバ体操

高齢者篇(座っても立っても可)

使用曲：8020健康サンバ

体操振付け・解説：矢崎 昭子(静岡県リズムムーブメント研究会会長)

監修：日本大学歯学部 摂食機能療法学講座 植田耕一郎教授

歌詞	振付け	歌詞	振付け
♪ [イントロ]	 1 両肘を曲げて上下に動かす 肩の高さに肘を上げ(1・2)下ろす(3・4) 4回繰り返す	2. 前歯が1本 (前歯が1本) 抜けてるね (抜けてるね)	[3-1] の振付け
サンバ サンバ 健康 サンバ きょうも お口は さわやか	 2 1 右手で縦歯磨きの動きをしながら 右へ上体を捻る(1~3) 拍手(4) 左手で同様に(5~7) 拍手(8) 繰り返す 右手(1~4) 左手(5~8)	奥歯が1本 (奥歯が1本) むし歯だね (むし歯だね)	[3-2] の振付け
目元千両 口元萬両 ハチマルニイマル~	 2 1 2 右手で横歯磨きの動きをし(1・2)、 2回目肘を引いたとき首を横にまげ 耳を肩に近づける(3・4) 左手で同様に(5・6)(7・8)	ゆうべ痛くて (ゆうべ痛くて) 泣いたでしょ (泣いたでしょ)	[3-3] の振付け
{間 奏}	 2 1 3 指を開いて口の前で手首を内・内・外 (イナイナイナイバー) 口元閉じて頬膨らませうがい動き (1・2・3・4) 3回繰り返す	むし歯の オニさん (むし歯の オニさん) やっつけーるー (やっつけーるー)	[3-4] の振付け
1. 食べるうれしさ (食べるうれしさ) いつまでも (いつまでも)	 3 1 1 右手を伸ばし手首を立てて肩の高さ で左から右へ(1~4) 左腕も同様に(5~8) 両手を肩の高さで、前方から交差 させ手首を立てて振りながら横に 開いていく(手はバイバイ)(1~8)	唄おう サンバ 健康サンバ 今日も 笑顔は さわやか	[2-1] の振付け
笑う楽しさ (笑う楽しさ) いつまでも (いつまでも)	 3 1 2 右腕を伸ばして左から右へ山を書い て回す(1~4) 左腕も同様に(5~8) 両腕を上から左右に、手首をしゃっ かりひねりながら キラキラさせて下ろしてくる(1~8)	歯磨き 上手に ハチマルニイマル	[2-2] の振付け
噛める喜び (噛める喜び) いつまでも (いつまでも)	 3 1 3 両手を腰に、背中を伸ばし上体を前 に 倒し、右足膝を伸ばしてかかとを付 く 口は閉じて突き出す(1・2)足も体も 戻す口は閉じてにっこり(3・4) 左足で繰り返す(5~8)	{間 奏}	[2-3] の振付け
話す楽しさ (話す楽しさ) いつまでも (いつまでも)	 3 1 4 背筋を伸ばして両手を前にパーと 同時に右足かかと押し出し腿上げ る口は大きく開けて(パー)(1・2)、 手は肩前に戻してグー(3・4) 左足 でも同様に(5・6)(7・8) 繰り返す(1~4)	みんなで声を合わせて 歌いながら口を大きく 開いて舌を動かします。 舌でホッペタを強くお します右(1~4) 左も同様に(5~8)2回	
オーレ オレ 健康 サンバ 今日も愉快地楽しく	[2-1] の振付け	サンバ サンバ 健康 サンバ 今日も 元気に 行こうよ	[3-1] の振付け
8020 (ハチマル ニイマル)	[2-2] の振付け	定期健診 GO GO GO ハチマルニイマル~	[3-2] の振付け
健康 サンバ!	[2-3] の振付け	オーレ オレ 健康 サンバ 今日もお口はさわやか	[3-3] の振付け
		8020 (ハチマルニイマル) 健康 サンバ!	[3-4] の振付け
		踊ろう サンバ 健康 サンバ 今日も 愉快地 楽しく~	[2-1] の振付け
		噛めば 万年 カメカメダイエット!	[2-2] の振付け
		健康 サンバ! 健康 サンバ!	[2-3] の振付け
		エンディング 	両手を膝の上に置いて かかとでリズムをとっ てタイミング良く両手 を上を開いて決めポーズ



制作：静岡県8020推進住民会議
連絡先：一般社団法人 静岡県歯科医師会 〒422-8006 静岡県駿河区曲金3丁目3番10号
TEL.(054)283-2591 FAX.(054)283-3590

「8020推進・静岡県大会」の歩み

〈第1回〉

日 時	平成13年3月29日(木) 13:30～
会 場	グランシップ 中ホール
記念講演	「スポーツからみた噛むことの大切さ」 広瀬 哲朗 プロ野球解説者 「みんなではぐくもう お口の健康」 安井 利一 明海大学歯学部教授
座談会	テーマ 「食べる・話す・生きる -歯の力-」 パネラー 広瀬 哲朗 安井 利一 久保田 敬子 (SBS学苑講師) 水野 涼子 (SBSアナウンサー) 進 行 大久保 満男
大会宣言	静岡県立袋井高等学校生徒 2名 (健康優良校代表)

〈第2回〉

日 時	平成13年9月1日(土) 13:30～
会 場	ツインメッセ (静岡県歯科医学・保健大会合同開催)
テ ー マ	「8020への道」 ～医療と保健からのアプローチ～
基調報告	山下 陽子 静岡県栄養士会会長 静岡県健康づくり食生活推進連絡協議会会長 海野 フミ子 静岡市農協女性部長 田中 信子 静岡県教育委員会体育保健課保健給食班長 佐藤 保 岩手県歯科医師会常務理事
座談会	テーマ 「食と健康を考える」 -8020をめざして- パネリスト 山下 陽子・杉山 祐子・海野 フミ子・田中 信子・佐藤 保 アドバイザー 池主 憲夫 日本歯科医師会地域保健委員会委員長 中村 宗達 静岡県健康増進室室長 大久保 満男 静岡県歯科医師会会長

〈第3回〉

日 時	平成14年11月9日(土) 10:00～
会 場	静岡市民文化会館 大ホール (全国歯科保健大会合同開催)
テ ー マ	「開こう健康長寿への扉」 ～8020運動推進特別事業の成果と～
特別講演	「食生活と歯の健康 ～食べて噛んで生きる～」 松谷 満子 日本食生活協会会長
活動報告	今澤 智子 由比町健康づくり食生活推進協議会会長 岡本 巳代 藤枝市健康づくり食生活推進協議会会長 川島 あつ江 福田町健康づくり食生活推進協議会会長

<第4回>

日 時	平成16年3月6日(土) 12:00～
会 場	静岡市民文化会館 中ホール
テ ー マ	「語ろう健康長寿への道」 ～私たちの8020運動～
特別講演	「今こそ食育を ～いい歯 いい顔 いい人生～」 砂田 登志子 食生活・健康ジャーナリスト
活動報告	岡本 巳代 藤枝市健康づくり食生活推進協議会会長 三島市8020推進員 「ジュゲムの会の仲間たち」 (寸劇)
座 談 会	テーマ 「私たちの8020運動」 -食育と健康づくり- パネリスト 砂田 登志子・岡本 巳代 アドバイザー 大久保 満男静岡県歯科医師会会長

<第5回>

日 時	平成17年1月27日(木) 13:00～
会 場	グランシップ 交流ホール
テ ー マ	「生涯にわたる健康づくり」 ～広げよ8020の輪～
推進員報告	渡辺 照子 沼津市8020推進員 川村 平和 田方歯科医師会会長 青崎 美代子 大仁町歯周病対策プロジェクト会議会長 原 明美 大仁町健康福祉課係長
8020童話 紙芝居上演	「迷子になった前歯」 作:土屋有加 作画:根子明里(静岡文化芸術大学3年) 朗読:平野ますみ
シンポジウム	パネラー 水鳥 寿思 体操選手:アテネ五輪金メダリスト 溝口 紀子 県立大学短期大学部助手:バルセロナ五輪銀メダリスト コーディネーター 大久保 満男 静岡県歯科医師会会長

<第6回>

日 時	平成18年3月9日(木) 13:00～
会 場	グランシップ 交流ホール
テ ー マ	「噛んで元気で幸せに」 ～8020健康の予感～
推進員報告	鈴木郁夫・南方 甫 三島市歯科医師会・三島市8020推進員会 五井 卓 静岡歯科医師会 池谷貴子・鈴木香賀 浜松市子育て支援センター・ころころねっと浜松
歯ミング体操	伊豆の国市8020推進員
講 演	「和食の底力」 小泉 武夫 東京農業大学教授

<第7回>

日 時	平成19年1月25日(木) 13:00～
会 場	静岡市民文化会館 中ホール
テ ー マ	「楽しく おいしく 健康長寿」 ～8020の微笑み～
推進員報告	青崎 美代子 伊豆の国市歯周病予防対策委員会 会長 南方 甫 三島市8020推進員会 会長
8020童話 紙芝居上演	「ゆびきりげんまん」 作：平野ますみ 作画：松浦亜矢子（静岡文化芸術大学3年） 語り：平野ますみ
8020 サンバ体操	8020三島市8020推進員 矢崎 昭子 静岡県リズムムーブメント研究会会長
講 演	小泉 武夫 東京農業大学教授 「老いを防ぐ食生活」

<第8回>

日 時	平成20年2月21日(木) 13:00～
会 場	グランシップ 会議ホール「風」
テ ー マ	「歯科が拓く地域の健康」 ～8020で健口長寿～
推 進 報 告	中田 邦夫 伊豆の国市歯周病予防対策委員会 中村 清徳 賀茂歯科医師会会員 西島 奉一 駿東歯科医師会会員 服部 徹 島田市健康福祉部健康づくり課医長 ※14市町より活動状況を紙上にて報告
講 演	小椋 正之 厚生労働省医政局歯科保健課 歯科保健医療調整官 「歯がささえる豊かな高齢社会」
落 語	桂 九雀・林家 花丸

<第9回>

日 時	平成21年1月29日(木) 13:00～
会 場	グランシップ 交流ホール
テ ー マ	「口からはじめる健康づくり」～地域みんなが8020～
推進員報告	大井 通 榛原歯科医師会会員 川平 寧子 三島市歯科医師会会員 ※37市町より活動状況を紙上にて報告
8020童話 紙芝居上演	「ミュータンス星の陰謀を打ち砕け」 原作：久永幸乃 作画：県立三島南校等学校美術部 語り：三島市8020推進員会
特別講演	永山 久夫 食文化史研究家・西武文理大学客員教授 「元気で長生きするための100歳食入門」

<第10回>

日 時	平成22年1月16日(土) 13:00～
会 場	富士市民文化会館（ロゼシアター） 中ホール
テ ー マ	「みんなで目指そう 8020歯の健康」
基 調 講 演	平田 幸夫 神奈川歯科大学社会歯科学講座 歯科医療社会学教授 「さあ、広げよう 8020推進からの快適な生活の輪」
シンポジウム	健康ふじ21推進シンポジウム テーマ 「みんなで目指そう 8020歯の健康」 コーディネーター 飯嶋 理 静岡県歯科医師会長 平田 幸夫 講師 パネリスト 近藤 正明 富士市歯科医師会（歯科医師） 後藤みはる 学校法人博学園 須津幼稚園（幼稚園教諭） 井上 朋子 静岡県農業団体健康保険組合（保健師） 植松 明 8020達成者（富士市）

<第11回>

日 時	平成23年1月22日(土) 13:00～
会 場	掛川市生涯学習センター
テ ー マ	「8020で美しく年齢（とし）をかさねる」
8020 サンバ体操	「掛川市乳幼児センター すこやか」園児のみなさん
基 調 講 演	宝田 恭子 日本アンチエイジング歯科学会常任理事 「8020で美しく年齢（とし）をかさねる」
会場まるごと 「8020なぞなぞ 大会」	出演 8020達成者（掛川市＝小野喜代子、菊川市＝竹内朔男、御前崎市＝榎林 博） 掛川市保健活動推進委員会 菊川市フッ素サポーター「チーム菊川」 御前崎市健康づくり食生活推進協議会 小笠掛川歯科医師会 袴田和彦 講演会講師 宝田恭子
大会宣言	松井 三郎 掛川市長 太田 順一 菊川市長 石原 茂雄 御前崎市長

<第12回>

日 時	平成24年2月4日(土) 13:00～
会 場	三島市民文化会館
テ ー マ	「8020で美しく年齢（とし）をかさねる」
8020 サンバ体操	
基 調 講 演	宝田 恭子 日本アンチエイジング歯科学会常任理事 「8020で美しく年齢（とし）をかさねる」
推 進 報 告	三島市 三島8020推進委員会、三島市立徳倉幼稚園児の皆さん 伊豆の国市 伊豆の国市歯周病予防対策委員会会長 竹内 慎一郎 裾野市 裾野市8020推進員（志村稀由） 清水町 清水町8020推進員（古田美保子・三枝照代）

<第13回>

日 時	平成25年1月24日(木) 13:00～
会 場	アクトシティ浜松「中ホール」
テ ー マ	「ハッピースマイル8020 ～健康づくりはお口から～」
8020 サンバ体操	
8020 活動報告	谷町 光子 J Aとびあ浜松女性部 湖西地区支部長 岡本 正枝 浜北の健康をささえる会「すこやか」会長
講 演	宝田 恭子 日本アンチエイジング歯科学会常任理事 「相手と自分を大切にできる笑顔レッスン」

<第14回>

日 時	平成26年2月15日(土) 13:00～
会 場	グランシップ 交流ホール
テ ー マ	「食べる力は 幸せ力 ～ふじのくにかから 広げよう 8020～」
8020 サンバ体操	浜松歯科衛生士専門学校 (DVD)
8020 活動報告	鳥田市健康づくり課 鳥田市のむし歯予防対策 牧之原市健康推進課 歯みんぐ(8020推進員)活動報告
パネルディス カッション	青山 旬 栃木県立衛生福祉大学 副校長・歯科技術学部長 菅野 直之 日本大学歯学部 歯科保存学第Ⅲ講座 准教授 中島 徹 静岡県歯科医師会 8020運動推進部員 赤堀 仁則 静岡県歯科医師会 8020運動推進部員

<第15回>

日 時	平成27年2月8日(日) 13:00～
会 場	プラサヴェルデ コンベンションホールB (沼津市大手町1-1-4)
テ ー マ	「ふじのくにかから 広げよう 8020」
8020 サンバ体操	
8020 推 進 活 動 報 告	沼津市8020推進員 原 明子 裾野市8020推進員 志村稀由 長泉町8020推進員 (長泉町健康増進課)
講 演	實川 欣伸 登山家(沼津市在住) 「生涯の師 富士山」 山本 龍生 神奈川歯科大学 准教授 「歯の健康は健康長寿の源」

〈第16回〉

日 時	平成28年2月7日（日） 13:00～
会 場	下田市民文化会館 大ホール
テ ー マ	「ふじのくから 伝えよう 未来に続く 健口づくり」 ～開国のまちから 広がる 8020～
8 0 2 0 推 進 活 動 報 告	静岡県立下田高等学校 南伊豆分校 「笑顔を創造できる食の開発」 河津町立東小学校 「生涯にわたって健康な生活を送るために」 劇団「カキヌマ」 人形劇「ブルーメンの音楽隊」
講 演	北折 一 元NHK「ためしてガッテン」専任ディレクター 「ガッテン流！ 楽しんで健康長寿 ～ワッハッ歯～」

〈第17回〉

日 時	平成28年11月27日（日） 13:00～
会 場	グランシップ 交流ホール
テ ー マ	口はいのちの入り口 こころの出口 ～たのしく食べて ふせごうオーラルフレイル～
8 0 2 0 活 動 報 告	三島市8020推進委員会 8020童話紙芝居「まんまるやまのはみがきパトロール」 静岡県歯科医師会 スマイル健口体操
講 演	木苗 直秀 静岡県教育委員会教育長・静岡県立大学名誉教授 「子供の健康・大人の健康を考える」
シンポジウム	シンポジスト 坪井 厚 静岡県栄養士会会長 〃 木苗 直秀 静岡県教育委員会教育長・静岡県立大学名誉教授 〃 土屋 厚子 静岡県健康福祉部健康増進課課長 座 長 柳川 忠廣 静岡県歯科医師会会長

〈第18回〉

日 時	平成29年11月5日（日） 13:00～
会 場	島田市民総合施設「プラザおおり」（島田市中央町5-1）
テ ー マ	ふせごうオーラルフレイル 渡ろうながいきの橋
活 動 発 表	島田市立初倉中学校 健康づくりってこんなに楽しい ～オリジナルキャラクター「ヘルッシー」と取り組む学校保健～ 島田市健康づくり食生活推進協議会 「具だくさん島田汁」を通した食育と8020推進員活動
講 演	北折 一 元NHK「ためしてガッテン」専任ディレクター 「ガッテン流！ お口のおとろえ予防法 ～おいしく食べて健康長寿～」

<第19回>

日 時	平成30年11月11日(日) 13:00～
会 場	グランシップ 会議ホール「風」
テ ー マ	はじめようオーラルフレイル予防 ～お口の機能から健康寿命へ～
活 動 発 表	静岡県健康増進課 全国健康保険協会静岡支部 健康保険組合連合会静岡連合会 静甲株式会社(事例報告)
基 調 講 演	小玉 剛 日本歯科医師会常務理事 「健康長寿延伸に向けたオーラルフレイルへの取り組み」
ディスカッション	パネリスト 小玉 剛 日本歯科医師会常務理事 〃 土屋 厚子 静岡県健康福祉部理事 〃 長野 豊 全国健康保険協会静岡支部支部長 〃 鈴木 哲夫 健康保険組合連合会静岡連合会常務理事 座 長 柳川 忠廣 静岡県歯科医師会会長

<第20回>

日 時	令和元年11月17日(日) 13:00～
会 場	裾野市民文化センター 「大ホール」
テ ー マ	ふじのすそのからひろげよう8020の輪 「すぐにはじめようオーラルフレイル予防 「そ」れが長生きの秘訣 「の」ばそう健康寿命
活 動 発 表	清水町保健委員OB会・8020推進員 小山町健康増進課 裾野市健康推進課 長泉町8020推進員
講 演 落	三遊亭楽之介 落語家 「笑いとその種類」「関取千両轢り」

<第21回> WEB開催

日 時	令和3年2月21日(日) 13:00～
会 場	静岡市民文化会館「中央ホール」
テ ー マ	口からはじめる健康管理 「8020で健康生活を送みましょう」
活 動 発 表	静岡市：静岡市健康づくり推進課 「静岡市における歯と口の健康づくり～これまでとこれから～」 富士市：富士市地域保健課 「ご近所さんの運動教室」活動の支援 ～高齢者の通いの場への医療専門職の派遣～
講 演	今井一彰 みらいクリニック院長(福岡市開業) 講演 「免疫力を劇的に上げる新型コロナ時代のセルフケア 4つの愛(I)で元気良く」

〈第22回〉オンライン開催

日 時	令和3年11月7日(日) 13:00～
会 場	えんてつホール(浜松市中区旭町12-1)
テ ー マ	口腔ケアで免疫力アップ ～みんな みんな 元気なお口～
司 会	坪井 厚 静岡県栄養士会会長 渡辺 良子 静岡県健康づくり食生活推進協議会
活動発表	伊藤 梓 浜松市口腔保健センター 所長 「浜松市で実施している「口を育む教室」について」 小粥江利子 歯科衛生(浜松市) 「自分で守ろうお口の健康 ～歯科医院での取り組み～」
講 演	槻木恵一先生 神奈川歯科大学副学長 「健康のためのケアのレベルアップは唾液にあり！」

〈第23回〉オンライン配信併用

日 時	令和4年11月20日(日) 13:00～
会 場	グランシップ 会議ホール「風」
テ ー マ	オーラルフレイル予防でいつまでも 若く! 美しく!
司 会	甲賀 雅章 (株)シーアイセンター 代表取締役ディレクター 佐塚真理子 静岡県歯科衛生士会副会長
活動発表	小畑 充彦 静岡市口腔保健支援センター 所長 「静岡市におけるオーラルフレイルの現状」 渡邊 良子 静岡市食生活改善推進協議会会長 「食育活動の中でのオーラルフレイル啓発」
講 演	小沼みのり氏 フリーアナウンサー 演題 「アナウンサー目線のお口ケア ～女子アナの笑顔の秘密～」

〈第24回〉オンライン配信併用

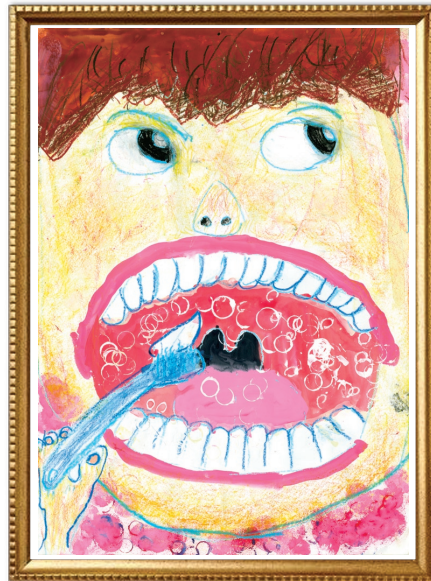
日 時	令和5年12月3日(日) 14:00～
会 場	清水テルサ「テルサホール」
テ ー マ	食べる力は、生きる力 ～元気の源は、よく噛むことから～
司 会	小畑 充彦 静岡市口腔保健支援センター所長 片山 知暁 静岡県歯科技工士会副会長
活動発表	岩間美和子 富士市地域保健課食育推進室 「多様な主体と連携して進める「お口の健康と食育の推進」」 望月 亮 静岡市清水歯科医師会副会長 「患者さんへの“社会的処方”-みつけてつなぐ歯科の役割」
講 演	桑野 稔子氏 静岡県立大学食品栄養科学部栄養生命科学科教授 演題 「元気の源は、よく噛むことから」

おめでとうございます

『歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール』 最優秀賞作品



【幼稚園・保育園の部】
小川幼稚園（焼津市） 6歳
米澤大悟



【小学校低学年の部】
南伊豆町立南伊豆東小学校 3年
山本晴大



【特別支援学校の部】
伊東市立宇佐美小学校
特別支援学級 2年
玉川達稀



【小学校高学年の部】
富士宮市立富士見小学校 5年
鈴木優雅

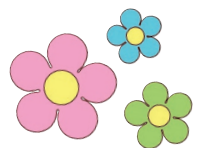
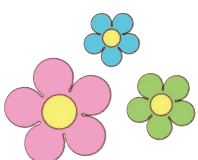


【中学校の部】
伊東市立南中学校 2年
近藤紀穂

『歯・口の健康啓発標語コンクール』 最優秀賞作品

きれいな歯 미래の自分に とどけよう

浜松市立三ヶ日西小学校 4年 磯田莉菜





8020 推進・静岡県大会

令和6年 11月10日⑩ 13:00～15:40 会場:グランシップ 会議ホール・風 (静岡市駿河区東静岡2丁目3-1)

[主催] 静岡県 / 静岡県8020推進住民会議 (静岡県歯科医師会内) TEL.054-283-2591